

秋の全国交通安全運動実施結果

9月21日㈰~30日㈪

	平成26年	平成25年	増減数
総事故件数	1,690件	1,823件	-133件
人身事故件数	210件	218件	-8件
死者数	4人	3人	+1人

運動期間中の死者数は4件4人(前年同期間対比+1件、+1人)で、歩行者2人、自転車乗用者1人、そして自動車の自損事故で1人が亡くなりました。
※ 10月末現在の県下の全死者数は90人(前年同期対比+14人)で、その半数近くを高齢者が占めています。

三重県交通安全協会は、交通事故をなくすため、幅広い交通安全活動を行っています。

当協会の活動は、皆様からご協力いただいた会費で支えられています。

三重県交通安全協会の活動にご協力を願います。

三重県交通安全協会は、一件でも交通事故をなくし、一人でも多くの命を守るために活動しています。

お住まいの地域で悲惨な交通事故をなくすために、当協会の活動にぜひご支援・ご協力を願います。



会員の皆様へ協賛店サービス

県内外の各店舗等のご協力により“会員の店”(約1,000店舗)での優待(料金の割引等)がご利用いただけます。

なお、「会員の店」(協賛店)情報は携帯サイトアドレス及びQRコードからも検索できます。

[携帯サイトアドレス]
<http://www.mie-ankyo-mise.com/mobile/>

三重県交通安全協会では、「協賛店」を募集しております。各地区交通安全協会へお問い合わせください。



(一財) 三重県交通安全協会

交通安全みえ

2014 / 初冬号 No.189

発行所
(一財) 三重県交通安全協会
三重県交通安全活動推進センター
(三重県公安委員会指定)

〒514-0004
津市栄町1-954 三重県栄町庁舎5F
TEL 059-228-9636
URL <http://www.mie-ankyo.com/>

北から南から ~各地区の活動~

交通安全協会は交通事故をなくすための幅広い活動を行っております。

- 街頭での交通安全指導(学童・お年寄りの街頭保護)
- 保育・幼稚園、小・中学校への交通安全資器材の提供
- 交通安全の広報啓発(新聞・テレビ・広報車)
- 交通安全イベントの開催(交通安全フェスタ等)
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通事故無料相談の開設

亀山地区交通安全協会、
松阪地区交通安全協会の活動は
P2にズームアップ!



わたしは三重県交通安全協会の
シンボルマスコット“ストッピー”です。



亀山地区交通安全協会
[ドライブインで立ち寄り客に安全運転を呼びかけ]



ZOOM UP!

松阪地区交通安全協会
[高齢者に反射材を手渡し事故防止の呼びかけ]



亀山地区交通安全協会は、秋の全国交通安全運動期間中の「交通事故死ゼロを目指す日」に、亀山市内のドライブインで交通安全広報啓発活動を行いました。当時は、地区役員のほか、亀山警察署員や亀山市職員が参加し、立ち寄り客に秋の交通安全運動のチラシと反射材等を配布するとともに、ドライバーの皆さんには夕暮れ時の早めのライト点灯を求める声かけなどをして、交通安全意識の高揚を図りました。

松阪地区交通安全協会は、交通安全教室等への参加機会の少ない高齢者を中心に戸別訪問指導活動を行い、反射材等の交付を通じて交通安全への意識の高揚を図りました。

訪問時には、9月に管内の嬉野地区が「夜光反射材着用促進重点地区」に指定されたことや反射材の有用性を説明し、「薄暮時からの外出の際には反射材を積極的に着用してください。」と声かけを行いました。

**夕暮れ時、ちょっと早めの
ライト・オン運動**

平成26年10月1日～12月31日

推進事項
夕暮れ時の早めのライト点灯
(自動車、二輪車、自転車利用者)
反射材の着用推進
(歩行者、自転車利用者)

三重県交通安全協議会
事務局：三重県津市立町13番地
TEL:059-229-2410 FAX:059-229-4807

**夕暮れ時、
ちょっと早めの
ライト・オン
運動実施中！**

10月1日～12月31日まで

推進事項

- 夕暮れ時の早めのライト点灯(自動車、二輪車、自転車利用者)
夕暮れ時は交通事故が多発します。
見るためのライトを見せるためにも点灯しましょう！
- 反射材の着用推進(歩行者、自転車利用者)
明るい服装と反射材を使って車にアピール！
特に、夜間は自分の存在を周りに知らせて安全を確保しましょう！

園児と盲導犬の

盲導犬募金贈呈式と交通安全教室

三重県交通安全協会は、平成26年9月24日(水)、盲導犬募金贈呈式と交通安全教室を津市内の“社会福祉法人 清泉福祉会 清泉愛育園”において行いました。

当協会では、平成17年から中部盲導犬協会の「ラブ募金箱」を県内の店舗等にご協力をいただいて設置しています。

募金は盲導犬の育成を通じて目の不自由な方々の交通安全に寄与していただく目的で中部盲導犬協会に毎年贈呈しております。今回は、280,484円を贈呈しました。

贈呈式後に実施した交通安全教室では、園児全員が盲導犬(名前:クッキー)と一緒に模擬横断歩道を高く手を挙げて安全に渡る体験をしました。

盲導犬協会の職員が「盲導犬は白いハーネスをついている時はお仕事中です。触ったりビックリさせたりしないでそっと見守ってあげてくださいね。また、盲導犬は信号の色が識別できないので、車の音や周りの様子から安全を確認して目の不自由な人と一緒に渡っています。交差点で盲導犬と目の不自由な人が信号を待っていたら“青になりましたよ”と教えてあげてくださいね。」と説明をすると、園児らは大きな声で返事をしていました。

園児たちは身近に盲導犬と接するのは初めてで、興味津々の中、盲導犬との触れ合いを楽しみながら交通ルールを学びました。

盲導犬と体験歩行

みんなの温かいご協力、ありがとうございました。

～冬期に向けた安全運転の心構え～

朝夕、寒く感じられる日も多くなりましたが、皆様、体調は如何でしょうか。ご自身の体調管理はもちろんですが、この時期、愛車の体調管理も重要です。暑かった夏場に比べ気温の下がった今、車のタイヤの空気圧は確実に低下していますし、バッテリーの性能も低下しています。本格的な冬を迎える前に、一度、チェックして頂くことをお奨めします。また、この時期、日暮れが日一日と早くなっていますが、薄暗くなっているにも拘らずヘッドライトを点けずに走行している車が見受けられます。夕暮れ時の早めのライト点灯は、ご自身の車の存在を周りに確認していただく効果もあり、安全運転のためには必要なことです。交通安全標語の「夕暮れ時、ちょっと早めのライト・オン」を今日からぜひ実践して下さい。

本格的な冬を迎えると、朝は車の窓ガラスが非常に曇り易く、視界が悪くなります。窓ガラスの曇りを取ってから出かける時間の余裕を持っていただきたいものです。

また気象条件によっては、道路が凍結する場所があります。特に橋の上やライトが路面に反射している箇所は凍結の恐れが大です。注意して走行頂くようお願いします。

三重県軽自動車協会
次長 荒木 昌彦

年末の交通安全県民運動 平成26年12月1日(月)～10日(水)

運動の重点

- ① 子どもと高齢者の交通事故防止
(特に、夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通安全対策の推進)
- ② 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ③ 飲酒運転の根絶

